

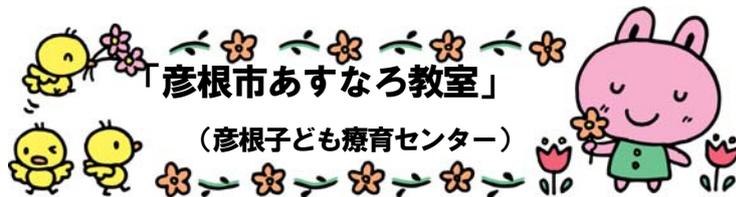
<教室紹介>

県下の各療育教室それぞれの特色や
とくみなど、いろいろなことを紹介
しています。

☆このページが情報発信の場になれば・・・と思っています。

滋賀県障害児地域療育連絡協議会

<http://www.shiga-syouchiren.net>



《教室紹介》

あすなろ教室は、彦根市の中央部にあり、市内の発達上の課題を持つ就学前のお子さんが、70人余り、通園しています。日々の生活や遊びを通じて訓練や指導をし、保護者の相談指導を早期より行い、一人ひとりの発達を支えています。

また、年齢の低いお子さんには、「つぼみ教室」を開いています。親子で参加できるさまざまな遊びを通して発達をサポートしています。30組の親子が利用しています。
(人数は、平成21年6月末現在)

《遊びの紹介》

あすなろ教室で子どもたちが楽しんでいる「バルーン」の遊びを紹介します。

パタパタバルーン (対象:1~3歳児・親子・肢体不自由児)

バルーン(布)の上に子・親子(一人で座れない子)で座ります。「世界中の子どもたちが」の歌に合わせて、保育士・親がバルーンをパタパタ〜。心地よい風と共に♪パタパタ〜と揺れるバルーンにうっとりとした気持ちよさそうな子どもたちです。使用する布は、サテン地などのサラッとした感触のもので、目にやさしい色を使用しています。職員の手作りです。



パラバルーン(大) (対象:1~3歳児・親子・4・5歳児・肢体不自由児)

運動会で使うこともある、大きめのバルーンを使用します。子どもたちは、バルーンの中(下)に入ります。一人で座ってられない子は、親や担当の保育士と座ります。周りを持っている大人(保育士・親)は、静かな曲に合わせて、バルーンを上げたり下げたり…。バルーンの中の不思議な空間から、バルーンがフワッと浮き上がる時の気持ちよさは、子どもたちだけでなく、大人もワクワクしてしまいます。けれど、ちょっぴり苦手さんもいるので、大人と一緒に座ったり、バルーンを持ったりするといいでしょ。



パラバルーン(小) (対象:4・5歳児)

小さめのバルーンを使います。子ども達は保育士と一緒にバルーンをしっかりと持ちます。静かな曲に合わせて、バルーンを上げたり下げたりします。保育士や友達と同じタイミングで同じ動きをするため、協調性をもたせるのにいいでしょう。慣れてきたら、子ども達だけでトライしてもいいかもしれませんね。上手にできるようになると、達成感が味わえます。



「いちご教室と地域との交流について」

いちご教室は、滋賀県最北にある伊香郡の発達に課題のあるお子さんたちが通ってくる療育教室です。今回は、いちご教室の地域とのふれあいについての取り組みを紹介したいと思います。

●夕涼み会

毎年、7月の第一週の土曜日に夕涼み会という夏祭りを行っています。夕方5時から、対象児の保護者、兄弟、祖父母など家族揃って、療育教室に来てもらうよい機会となっています。また、OBのお子さん、OBの保護者、地域の中学生ボランティアなど、様々な人たちと触れ合える日です。

OBの保護者が午後から出店料理の手伝いに来られ、フランクフルト、カレーライス、かき氷など食べ物の夜店を出店します。OBの保護者の方は、スタッフと昔話に花を咲かせたり、年代の違うお子さんを持つ保護者同士の交流の場にもなっています。

お子さんたちは、普段の療育とは違う雰囲気には最初は戸惑いながらも、スタッフの出し物を見たり、夜店をまわったり、花火を見たりと楽しい夕方のひと時を過ごしています。

●ふれあいいきいきサロン「さくらんぼ」（高齢者サロンとの交流）

2008年からいちご教室の近くにある高齢者サロンとの交流を概ね月に一回しています。高齢者の方と一緒に手遊びをしたり、ペープサートを見たりと短い時間ではありますが、お子さんたちと高齢者の方が触れ合う時間を持っています。



高島市カンガルー教室



当教室は、高島市在住の乳幼児とそのご家族を対象とした療育教室です。在宅児（未就園の子どもさん）のクラスと、併行通園児（保育園・幼稚園等に通っている子どもさん）のクラスがあり、それぞれで親子あそびや発達に応じたあそびを行っています。子どもさんの『一緒に遊ぶの楽しい(*^_^*)』『もう1回したい!!』という気持ちの表れを大切にしています。

今回紹介するのは手作りのおもちゃです。「こんなおもちゃがあったらいいな」「こんな風にあそびたいな」という保育士の思いが＜手作りおもちゃ＞としてできあがっていきます。ほとんどが廃材を利用したものです。

＜施設名の由来＞

「子どもを大切に育てながら、母子共に力強く飛躍したい」という思いをこめて、母子教室時代（S48年～S57年）に通所されていた方々が、命名されました。

* 箱車(はこしゃ) *

◎ダンボールの箱に好きなイラストを貼りつけ、ひもをつけたらできあがり！！



サイズも見た目もいろいろでその名のとおり＜箱の車＞です。なんてことないようなおもちゃですが、箱車に乗ってお母さんに引いてもらったり、おもちゃや積木をいっぱいおせて「ヨイショ！ヨイショ！」と自分で引っぱったりして遊んでいます。

大きめの箱車は、乗って引っぱられると姿勢が不安定になるので上級者向きかな？！

* くだものクッション・すうじクッション *

◎廃材のスポンジとシーツを使って作ります。



子供たちはジャンプをするのが大好き！「何番にジャンプする？」「ぶどうにする？メロンにする？」自分で選んで目標を定めてクッションの上にジャンプします。3番と4番に両足でジャンプする離れ技にチャレンジする子もいますよ！！

このクッションはリバーシブルになっていますが、新作はカバータイプの＜レストランメニュー＞で上からかけるだけでO.K！

選ぶ楽しさがどんどん広がっています。たいたいま色バージョンも考案中です。

* まとたおし *

◎発泡スチロールの箱に画用紙を貼って作ります。（デザインを考えるのが楽しいですよ。）



バイキンマンの的を倒して遊びます。3分割や2分割になっていて軽い素材なので組み立ても自分でできます。バイキンマンの頭、おなか、足を見比べながら順番に積めたら力をこめてパンチ！キック！バイキンマンをやっつけられたら「やったー！！」です。

愛犬つくし教室

愛犬つくし教室は愛荘町・多賀町・甲良町・豊郷町の四町が運営している療育教室です。現在、39名の子どもが週一回通園しています。

今回は、教室の大きな行事の一つである、運動会の様子を紹介したいと思います。運動会は、毎年6月頃、近くの小学校の体育館を借りて行なっています。今年は6月14日（日）に行ないました。

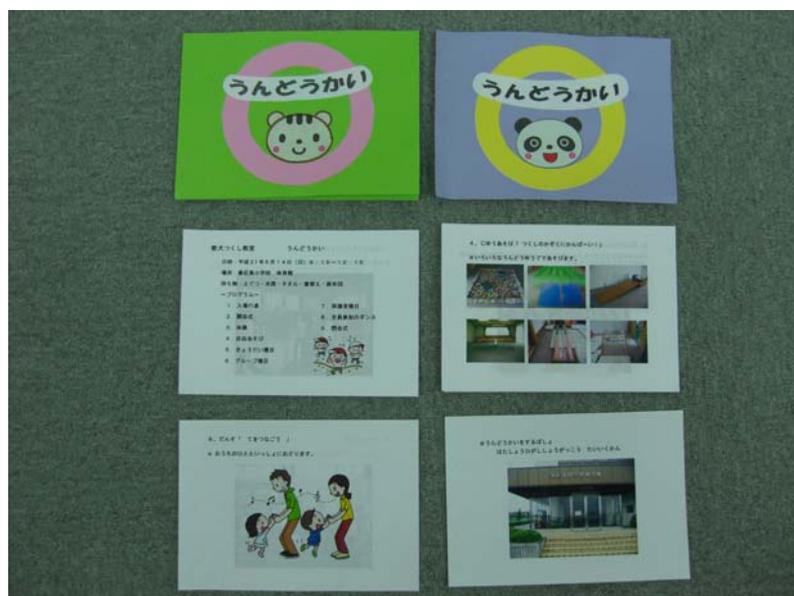
つくし教室の運動会は、①入場行進②開会式③準備体操④運動遊び⑤きょうだい種目⑥グループごとの競技⑦保護者種目⑧全員で踊るダンス⑨閉会式というプログラムで進めています。一番の特徴は、運動遊びの時間です。教室で使用しているさまざまな遊具を体育館全体に設定し、子どもも大人も思いっきり身体を動かして運動遊びを楽しんでいます。いつもと違う場所で、緊張していたり、場に慣れない子どももいましたが、運動遊びの時間になると笑顔になり、家族みんなで楽しい時間を過ごしていました。また、普段療育に参加できないお父さんや祖父母の方にも子どもたちが楽しく遊んでいる様子を見ていただく良い機会となっています。

グループごとの競技は、普段経験している活動を取り入れた内容（トンネルをくぐる→一本橋を渡る→カラーボックスの上からジャンプする→走ってゴールするなど）で取り組んでいます。

保護者種目もとても盛りあがります！今年は二人一組で、カードの絵を合わせるゲームを2～3チームずつに分かれて行いました。競技に参加している保護者だけでなく、応援している保護者や子どもたちもとても楽しんでいました。

プログラム最後の閉会式は、表彰台を用意し、園長先生からメダルとプレゼントをもらいます。みんなから拍手で頑張った事を褒めてもらい、子どもたちはとても満足そうな表情をしていました。

☆運動会の内容だけでなく、プログラムにも工夫をしています☆



プログラムはスタッフの手作りです。次にする事がより分かりやすくなるよう、絵や写真を使って作っています。また、グループ種目は一人ずつの子どもの顔写真も載せて紹介しています。子どもだけでなく、保護者の方からも「分かりやすい」と言っていたり、とても好評です。

長浜市こども療育センター浜の子園

浜の子園は発達上なんらかの問題を持つ子どもたちとご家庭のためにひとりひとりの発達を支え、ご家庭、保育・教育機関で豊かに生活していけるように援助しています。今回は最近園でしている手遊びを紹介します。

- ♪ぞうきん♪ (子どもさんにあおむけにねてもらいます)
- 針に糸を通して (指で針と糸を作ります)
- チクチクチクチクチクと (人差し指で体をつつきます)
- 縫ったらぞうきんできあがり
- バケツにいれて ジャブジャブジャブ (両足を曲げて体に圧を加えます)
- あらって (足を交互に動かします)
- しぼって (両足を持って左右にひねります)
- ふきそうじ (体をこすります)

- ♪いっぽんばし♪
- いっぽんばし こちょこちょ
- たたいて つねって
- かいだんすべって
- さあ このとおり



- ♪でこやまでこちゃん♪
- でこやまでこちゃん いたずらで
- けむしを2ひきつかまえて
- ちょうちょのはねをひっぱって
- おはなをぺちちゃんとふんずけて
- アッカンペーして にげちゃった



手作りおもちゃを紹介します

近江八幡市子ども療育センター ひかりの子

1. 変身カード

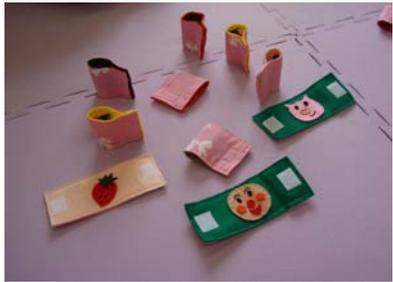
		
チンプイパイのパイ	あんぱんまんの絵をひっぱると	あんぱんまんが完成しました。

その他、しょくぱんまん、ぼによ、ばなな、クリスマスツリー等があります。

☆子どもの様子

不思議そうな顔をしてじっと見えています。保育士がした後は、自分でもやってみて変化を楽しんでいます。

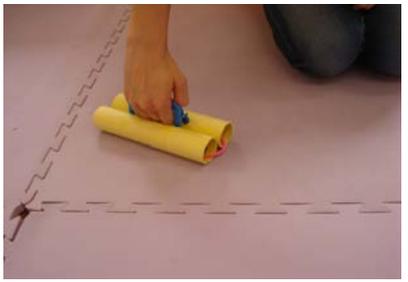
2. 布のいないないばー

		
① 「いないないばー」とマジックテープをはがすと	②いろいろな物ができます。	

☆子どもの様子

果物、自動車、動物等マジックテープをはがすとでてくるので楽しんでめくっています。

3. こんなことできるかな (つつあそび)

		
こんなこと こんなことできる かな	さんかく	自動車ぶっぶー

その他、望遠鏡のようにのぞいてみたり、いろいろ変化すると楽しいです。

☆子どもの様子

♪こんなこと こんなことできるかな♪と保育士が子どもたちの前ですると続いて子どもたちも真似をしてやってみようとしています。

ひまわり教室

今回は、教室のデイリープログラムを、普段使っている視覚支援と一緒に紹介します。

<p>玄関</p> 	<p>朝の片付け</p> <p>①「おはよー！」元気に登園してくと、1人ひとりの靴箱に靴を入れて、朝の支度をします。 支度の終わったおともだちは自由におもちゃで遊びます。</p>																							
<p>②朝の自由遊びが終わったら、アンパンマンの曲でお片づけ。自由遊びの間に、必要に応じて各自デイリーを確認します。 親子遊びは、大きなカードを使って、1つひとつ次の遊びを伝え、活動の切り替えを促します。</p>	<p>デイリー</p>  <table border="1"> <tr><td>1</td><td>のりものごーごー</td></tr> <tr><td>2</td><td>あるくはしる</td></tr> <tr><td>3</td><td>ごーひーかつぶ</td></tr> <tr><td>4</td><td>おうま</td></tr> <tr><td>5</td><td>しーつぶらんこ</td></tr> <tr><td>6</td><td>きしゃ</td></tr> <tr><td>7</td><td>わっしょい</td></tr> <tr><td>8</td><td>あいさつ</td></tr> <tr><td>9</td><td>おやつ</td></tr> <tr><td>10</td><td>すなば</td></tr> <tr><td>11</td><td>かえりのかい</td></tr> </table>	1	のりものごーごー	2	あるくはしる	3	ごーひーかつぶ	4	おうま	5	しーつぶらんこ	6	きしゃ	7	わっしょい	8	あいさつ	9	おやつ	10	すなば	11	かえりのかい	<p>注目ボード</p> 
1	のりものごーごー																							
2	あるくはしる																							
3	ごーひーかつぶ																							
4	おうま																							
5	しーつぶらんこ																							
6	きしゃ																							
7	わっしょい																							
8	あいさつ																							
9	おやつ																							
10	すなば																							
11	かえりのかい																							
<p>おやつ片付け</p> 	<p>③親子遊びのあとは、おやつタイム\(^o^)/ おいしいおやつが終わったら、食器を片付けて、歯磨きをします。</p>	<p>歯磨き</p> 																						
<p>④今日は何の遊びかな？8月はプール、9月は戸外遊具を中心に遊びます。雨が降ったら、紙粘土やスライム、室内遊具です。</p>	<p>個人もちカード</p> 	<p>⑤設定あそびが終わると、おはなしを聞いて、帰りのあいさつをします。 楽しかったね！ 来週もまた、いっぱい遊ぼう！ バイバイ(^ ^)/</p>																						

いかがでしたか？ この他にも、クッキングや制作遊びの手順表を随時使っています。

長浜市こども療育センター わかば園

わかば園は、発達上なんらかの課題（ことばが遅い、みんなと遊べない、歩行が遅い、落ち着きがない等）をもつ子どもたちとご家庭のために、早期からの療育の場として設けられたものです。子どもたち1人ひとりの発達を支え、家庭、保育・教育機関で豊かに生活していけるよう支援しています。

今回は、どのグループでもしている“ぶらんこ遊び”を紹介します。

ぶらんこ遊びとは…

いろいろな形のクッションを使っの揺れ遊びです。



（上記のクッションは一例です。）

①どのクッションでぶらんこをするのか、子どもに選んでもらいます。

絵カードを使って選択のできる子、クッションを指さして伝えてくれる子、クッションめがけて走っていく子、などいろいろな表現で伝えてくれます。

②子どもにクッションに乗ってもらい、しっかりしがみついていることを確認してから大人2人が両端を持って揺らします。

わかば園では…この歌で揺らしています。

♪ぶらんこゆれて おそらがゆれる ゆらゆらゆらり きのえだゆれて
○○ちゃんもゆれる ゆらゆらゆらり ゆらゆらゆらり ♪
1, 2ので…それー とふわふわの布団の上へ ドスン と落とします。

③子どもから『もうっかい』と要求があったら、またクッションを選んでもらいます。

☆子どもの課題に応じて、担当が揺れの大きさや揺らす速さや傾きなどを考えながら関わっています。